

2010年5月20日

2010年3月期 決算説明会 質疑応答概要

株式会社メイテック

- 1.日 時 2010年5月13日(木)14:00~15:00
2.場 所 当社東京本社 カンファレンスルーム
3.当社側説明者 代表取締役社長 西本 甲介
取締役 國分 秀世
取締役 米田 洋
取締役 中島 清雅
取締役 上村 正人

4.質疑応答

質問 2010年4月度の稼働率の低下は、一過性のものと考えべきなのか？

回答 4月の稼働率の低下は、一過性のものと考えています。

質問 今回の会社予想は保守的な見通しに思えるか？

回答 現時点では、景況の先行きの不透明感が払拭できておらず、楽観的なシナリオを想定すべきでないと考えています。

現状、回復している受注の中身は、大半がリバウンド受注です。当社の主要顧客である製造業各社はコスト削減等を継続され、まだ「削る」動きが大半であり、「増やす」動きは大きくなっていません。

製造業各社の攻めのR&D投資の動きが当期中に鮮明になってくれば、より上ぶれの可能性があると考えています。

質問 来年度(2011年4月)の新卒採用予定は？

回答 現在、採用活動は休止中であり、来年度の新卒採用は行わないこととなります。但し、上半期に想定以上の業績回復が実際に見えてきた場合は、下半期にキャリア採用の再開を検討していきます。

質問 2010年3月期は、業務フェーズを引き下げることで新卒採用社員の配属を促進したと説明があったが、今年度の単価水準はどのように見通しているのか？

回答 新卒採用社員の配属促進により、全社平均単価は2009年3月期対比で約3%低下しましたが、新卒の業務フェーズを上げることにより、下落幅を縮めていきたいと考えています。

質問 製造業の正社員の所定労働時間に増加の傾向が見えてきているが、メイテックの稼働時間はゆるやかな増加傾向なのはなぜか？

回答 稼働時間が一本調子で上がっていくとは考えていません。日本の製造業全体でリーマンショック以前から、残業を抑制している動きが見られた点からもそのように考えております。

質問 今期の経営方針に沿って、雇調金に依拠しない体制とは、どのようなものなのか？

回答 2010年3月期に受給した雇用調整助成金46億円を除外した場合には、無借金での企業運営は当年度は難しいと認識しています。今期の経営方針は、雇用調整助成金という公的資金に依存しなくとも、自分たちの資金力で企業運営できる体制を目指すという考え方です。

質問 来期(2011年4月)以降の稼働率の改善についてはどのように考えているのか？

回答 稼働率の改善については、日本の製造業全体の技術開発投資動向や技術開発投資予算の外部戦力の活用動向などが複雑に絡んでくるため、現状では推定できる状況にはないと考えています。

当社の主要顧客である日本の製造業全体がコスト削減等によって利益を出すのではなく、新たな事業により収益を出していく等の投資の動きが鮮明になることが稼働率の改善に大きく影響すると考えています。

質問 2011年3月期の雇用調整助成金32億円の受給は確定しているのか？

回答 確定ではなく、見込みです。32億円は、現状の収益計画上の未稼働のエンジニアの数に基づいて申請した場合の見込み金額になります。

質問 売上が予想を上回って推移した場合の営業利益、雇用調整助成金はどのように増減するか？

回答 売上が予想を上回って推移した場合は、営業利益は増加します。売上増加に伴い未稼働エンジニアが減少するため、雇用調整助成金の対象者は減少するため、雇用調整助成金(営業外利益)は減少することになります。

質問 中国で求められているエンジニアの仕事はどのような内容か？

日本から中国へ技術開発部門の移管は起きているのか？

回答 ハイエンドの技術開発は人材の育成が十分でなければ移転はできないため、製造業各社においては、短期ではなく3~5年をかけて技術開発機能を移転することを考えているところが多いようです。

一方で、技術開発の周辺、品質保証や生産管理の分野でのエンジニアの求人ニーズは増加しています。

質問 雇用調整助成金が受取れなくなる条件はどのような内容か？

回答 雇用情勢助成金の受給要件(直近3ヶ月の売上高が前年の同3ヶ月比で5%以上下落等)があります。

受給要件を満たさなくなった場合は、来期(2012年3月期)は受給申請を行いません。

質問 配当に対する考え方に変化はないか？

回答 当社グループ全体のワーキングキャピタルを確保した上で、余剰部分を株主の皆様へ還元させていただくとの基本的な考え方に変化はございません。

但し、従来、連結月商の2ヶ月としているワーキングキャピタルの設定方法の見直しを行う可能性はあります。

質問 今期見通しの稼働率の前提では、長期未稼働エンジニアが多く発生するのか？

回答 新規の契約開始により、一定のエンジニアの入れ替わりが発生します。よって、未稼働のエンジニアが長期に滞留しているという状況ではありません。

質問 稼働率の低下により、離職者は増加しているのか？

回答 退職率は例年よりも低水準で推移しました。例年6%前後の水準に対して、2010年3月期の実績は4.7%でした。

以上